

令和2年度 自己評価

I 「保育の計画性」についての検証及び改善策

保育の計画は学年リーダーを中心に子どもの実態や社会情勢に合わせて計画され、状況に合わせて臨機応変に変更する事が出来ていた。全体的に幼稚園教育要領について教職員間で話し合いをする機会が少ないと感じている職員が多いように思われる。安全で清潔感のある環境構成については教職員全体で自信を持って行うことが出来ており評価が高い。

II 「保育への在り方、幼児への対応」についての検証及び改善策

子どもの健康と安全への配慮は引き続き各教職員の評価が高く、今年度は特に新型コロナウイルスへの感染防止の為健康観察カードを取り入れ、子どもの体調管理、検温、消毒等衛生面対策が徹底して行われている。教職員全員が全ての子どもについて理解できるよう職員間の伝達や連絡手段等を見直し、当日中に全職員へ重要事項が伝達できる仕組みを考え実行できている。

III 「保育者としての資質や能力・良識・適正」についての検証及び改善策

今年度は新型コロナウイルスの影響で幼稚園や幼児の事だけでなく社会の出来事等についての情報をたえずとらえようとする姿勢が各教職員から感じられた。周知すべき情報と守秘義務を区別し情報管理が出来ている。また、子どもの健康管理はもちろん、自らの健康・安全にも配慮し生活することが出来ている。

IV 「保護者への対応」についての検証及び改善策

怪我やトラブルが起きてしまった際の報告、対処、伝達が出来ていない事があった為、手段を再度見直し、職員全体で高い意識を持ち最優先で行動出来るようになっている。保育参観や行事等、新型コロナウイルスの影響で例年通りに行えない行事も多くあったが動画配信や密を避けての開催等安全面に配慮し父兄へ子どもの様子を伝える工夫がされていた。

V 「地域の自然や社会との関わり」についての検証結果及び改善策

今年度は園庭開放も場所の制限やイベント日の中止等が多かったが入園案内説明会は毎月行い新入園児父兄への子育て支援の体制は変わらず実施出来ていた。地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしたり、卒園した子どもの情報等教職員間で共有する事が出来ていた。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

今年度は新型コロナウイルスの影響で研修自体の実施が少なかったがリモートでの参加等状況に合わせて行われていた。参加職員に限られ教職員全体での研修と研究に対する評価は低くなっている。今後は教職員各自で子どもを取り巻く様々な状況の変化について学習し、問題点等を理解し、話し合いをする場を設けていきたい。